

議会だより

かがみ

No.71

平成21年(2009)
11月16日発行

さわやかに 歴史と未来の 出逢うまち



上郡のマスコットキャラクター
円心くんとエイトちゃん

こんなことが決まりました

9月定例会

決算認定

P.2~3

付託審査・委員会報告

P.4~5

議員研究会・議員のボランティア活動

P.6

一般質問

P.6~9

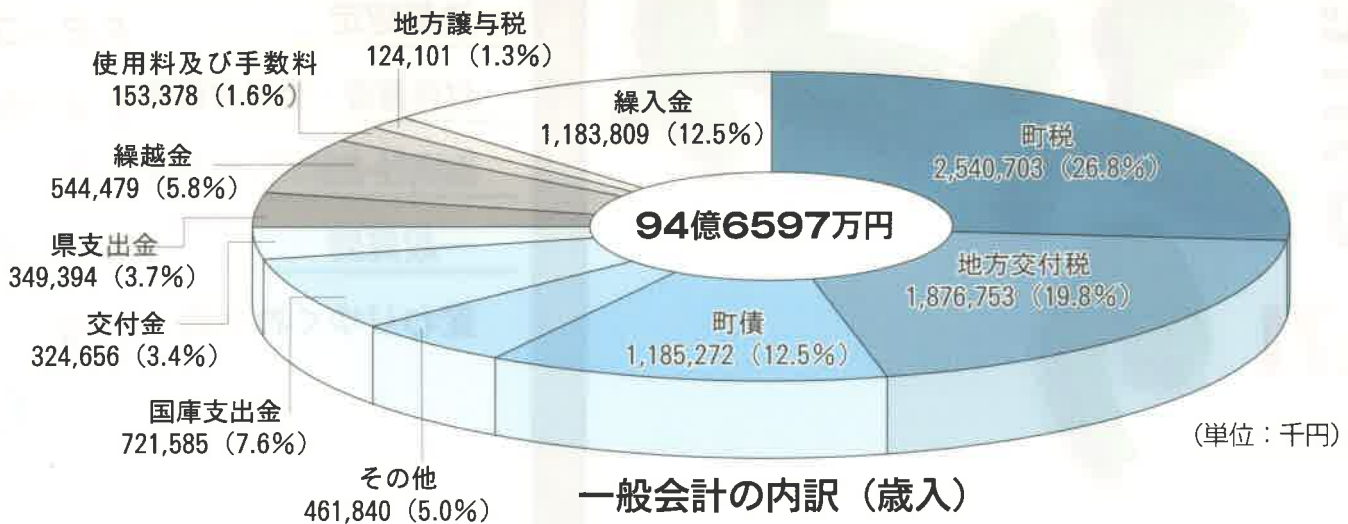
変わりゆくわが町

P.10



上郡中学校 50周年記念 運動会

本定例会は9月8日から16日まで開催され、同意1件、承認1件、報告1件、平成20年度一般会計決算認定、特別会計決算認定10件、工事請負契約及び変更契約3件、平成21年度一般会計、特別会計の補正予算等計28件が上程されました。各常任委員会による付託審査などを行い、慎重審議の結果すべて原案通り可決しました。7名の議員が町政への一般質問を行いました。



平成20年度決算

(単位：円)

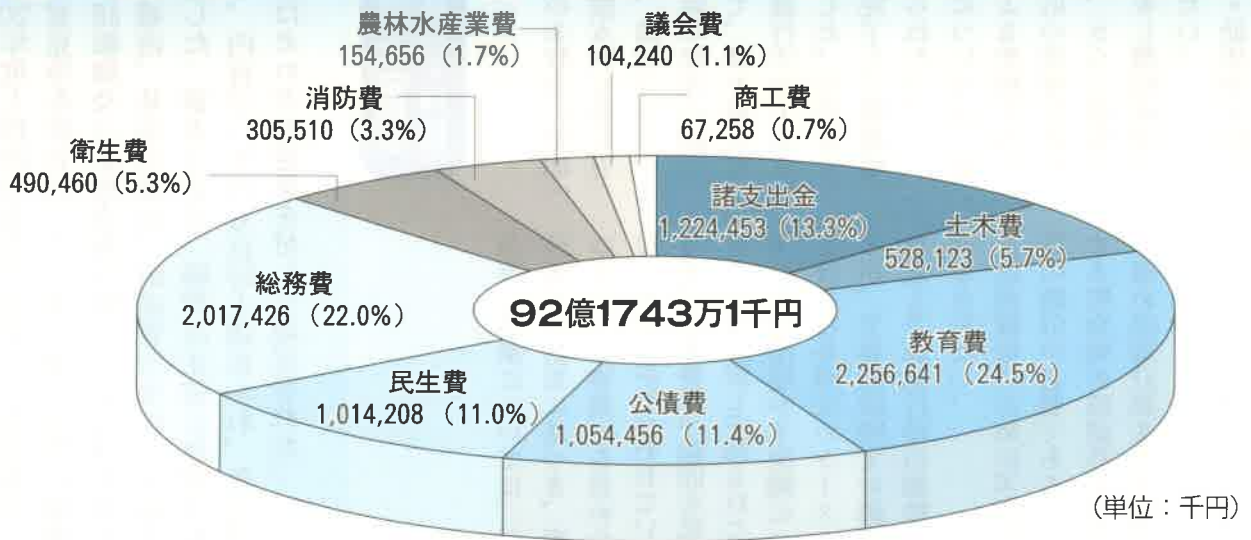
会計名	歳入	歳出
一般会計	9,465,969,670	9,217,430,522
特別会計 (水道事業除く)	5,471,639,461	5,376,038,496
特別会計内訳		
住宅改修建設資金貸付事業	5,155,892	4,894,989
国民健康保険 (事業勘定)	1,855,116,927	1,775,716,883
国民健康保険 (直診勘定)	60,089,311	59,503,842
老人保健医療事業	241,342,391	241,717,883
後期高齢者医療事業	201,649,057	201,346,286
介護保険事業	1,322,754,256	1,317,983,743
簡易水道事業	69,841,567	68,584,905
農業集落排水事業	305,798,956	304,782,596
公共下水道事業	1,381,138,192	1,372,755,262
公営墓園事業	28,752,912	28,752,107
水道事業 (収益的収入及び支出)	393,289,301	358,756,612
水道事業 (資本的収入及び支出)	73,955,376	128,229,541

* 水道事業 (資本的収入及び支出) において、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補填。

監査委員の意見

- 町税等の未収金が増加している。当年度末での未収金総額は3億36万8千円である。財源確保、公平負担の観点からも徴収は不可欠で、一層の努力を期待する。
- 本年度の不能欠損処分額は、町税が111万6千367円 (231件)、国民健康保険税が68万2千260円 (27件) である。時効中断等を行い徴収に努められたい。
- 委託料は予算を下回る事例がある。消耗品費、修繕費の不用額は経費削減の結果と考え評価するが、今後も引き続き努力されたい。
- 補助金、助成金、交付金のうち、目的を達したもののや行政効果の乏しいものは統合・廃止するなど、絶えず検証と見直しを図られたい。
- 公営墓園の使用は造成墓所の60・7% (185区画) だが、使用者の資格を町内に限定せず町外の人も利用できないよう、条件緩和の検討など未使用区画の解消に努められたい。

平成20年度 決算認定



一般会計の内訳 (歳出)

1. 健全化判断比率

単位：%

	平成20年度決算	平成19年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	15.00	20.00
連結実質赤字比率	—	—	20.00	40.00
実質公債費比率	17.3	17.4	25.0	35.0
将来負担比率	271.1	233.2	350.0	

※実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合は、「—」と記載する。

2. 資金不足比率

単位：%

	平成20年度決算	平成19年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	20.0
特別会計公共下水道事業	—	—	20.0
特別会計農業集落排水事業	—	—	20.0
特別会計簡易水道事業	—	—	20.0

※資金不足が生じない場合は、「—」と記載する。

平成19年度から財政健全化に関する指標「健全化判断比率（4項目）と資金不足比率」を公表し、財政の状況を示すことが各自自治体に義務付けられた。平成20年度は実質公債費比率と将来負担比率が財政の早期健全化を目指す状況である。

健全化判断比率及び資金不足比率の報告

付託審査報告

平成20年度上郡町の各会計決算は、監査委員の報告と意見等を参考に、歳入歳出決算の数値と関係諸帳簿及び証拠書類の照合による各項目の執行の適否、基金の運用、財産管理等につき慎重に審査した。審査の結果、経理は正確に処理されており、内容はいずれも良好と認められ、各会計の決算はそれぞれ意見を付して認定された。

総務文教常任委員会 (9月11・14日)

「意見」

- ・ 町税等の未収金の増加に対する抜本的な徴収方策として、滞納についての個別台帳の様式の統一化に向けて、課を越えての作業が進行中であることを確認した。早急にこの作業を完了し、財源確保に努められたい。
- ・ 未収金については、県の指導による差押え等の努力で一応の成果が認められるが、さらに徴収方法の工夫をし徴収成果を挙げられたい。
- ・ 補助金・助成金・負担

民生建設常任委員会 (9月11日)

「意見」

- ・ 徴収事務に関しては、個別訪問が出来ていない事案が見受けられたため、県の指導、償還に係る誓約書の作成並びに個別訪問の実施をされたい。
 - ・ 国税の徴収状況や滞納整理状況、滞納処分状況の説明を受けながら慎重に審査を行い、更に未収金を回収し、不納欠損にならない様努力されたい。
 - ・ 棚卸資産の管理状況については、一部の貯蔵品は帳簿と棚が整合していないため、その整理と簿外資産の管理について、改善をされたい。
 - ・ 未接続世帯に対し接続率の向上や使用料の滞納対策に取り組まれたい。
 - ・ 墓園については町外の人にも使用できるような条件の緩和と近隣市町の状況も検討し、町民の意向も把握した上で方向性を見出すように。
- 金等の事業については、行政評価等の結果に基づき、事業の廃止(2事業)を含めた予算の見直しが行なわれている。今後は対象事業の範囲を拡げ、さらなる見直しを図られたい。
- ・ 予算の流用や不用額についてはやむを得ないケースもあるが、予算編成時での綿密な査定と予算執行時の適格な処理をされたい。
 - ・ 財源確保のために不要町有地の処分が必要である。点在市有地の確認作業を早急に始め売却計画を推進された。

工事請負契約締結の件

上郡公民館等新築工事

契約方法 制限付き一般競争入札
 契約金額 94,185,000円
 契約の相手方 姫路市西延末269-6
 立建設(株)
 代表取締役 野勢駒雄

工事請負変更契約締結の件

旧中学校解体工事

(鋼材数量に変更が生じたため)

契約金額 変更前 49,350,000円
 変更後 51,711,450円
 契約の相手方 上郡町山野里2349
 (株)大賀
 代表取締役 藤本例子

公共下水道事業

上郡町駅西ポンプ場建設工事委託

契約金額 変更前 1,100,000,000円
 変更後 832,850,000円
 契約の相手方 東京都新宿区四谷3-3-1
 日本下水道事業団
 理事長 曾小川久貴

同意案件

教育委員会委員の三宅一郎氏が平成21年9月30日付で任期満了。同氏の再任を求めめる件が上程され、賛成多数で同意した。

住所 尾長谷960
 氏名 三宅一郎
 生年月日 昭和32年3月13日

専決処分の承認

8月10日付で専決処分された台風9号被害に係る一般会計補正予算について、災害復旧関係経費2100万円の増額を承認した。



▲ 上郡公民館 (完成予想図)

委員会報告

総務文教常任委員会

8月26日開催

○梨ヶ原小学校、船坂幼稚園、船坂小学校の閉校行事

閉校式は平成22年3月7日(土)、午前が梨ヶ原、午後が船坂の予定。

○上郡中学校50周年記念式典
11月8日(日)に行なうことを計画。

○台風9号の被害状況等

- ・浸水家屋被害は住家134戸、非住家64戸。道路、河川、農業施設、農地、処理場、管路など140箇所、2億4、352万円。水道施設1箇所。農作物被害は調査中。
- ・住民税、固定資産税、国民健康保険税の減免措置が行なわれる。床上浸水被害の51件が対象。
- ・187万円の見舞金、飲料水、タオルなどの救援物資の寄附があった(8月25日現在)。

○上郡中継局の廃局

デジタル化に伴いNHKとサンTVの廃局が決定。

○人事院勧告の実施が決まる

報告骨子は、平均年間給与で2・4%、期末勤勉手当(ボーナス)で0・35月分の引下げ。11月に臨時会を招集し条例改正を行なう。

民生建設常任委員会

8月11・19日開催

○台風9号被害状況の現地視察

〔意見〕
・家財等清掃のための水道代及び大型ゴミ、畳等の処分費の免除を。
・赤松水源地の冠水に対する対処方法の検討を。

○1日当たり33人

鞍居診療所の利用状況は、1日当たり33人(月では693人)で昨年実績に近い数値になっている。(7月末現在)

〔意見〕

医師の評判がよいことを町民によく伝えるように。

○使用許可数は185区画

町霊苑使用許可状況は、185区画(全区画306)で使用率は60・7%、墓碑工事は完了は93基。

○対象児童数は400人

子育て応援特別手当は、国の経済危機対策として平成15年4月2日から18年4月1日の間に生まれた子供を対象に1人当たり3万6000円をその世帯主に支給。対象児童数は400人、支給総額は1440万円。

○女性のがん検診を推進

一定年齢に達した女性を対象に、子宮頸がん、乳がんの検診料の自己負担分を免除し、女性特有のがん対策を推進する国の事業です。

町ぐるみ健診のがん検診を受ける女性で子宮頸がん463人、乳がん641人が対象者となっている。なお、国は受診率50%を目標としている。(一定年齢・子宮頸がんは20

歳から40歳、乳がんは40歳から60歳までで、いづれも5年きざみの歳で受診)。

○みのり作業所、法人化へ

赤相みのり上郡作業所は、本年5月に法人名称を「特定非営利法人ほっと・みのり」と決定した。平成22年4月1日に法人移行の予定。

○見舞金41世帯に支給

町は床上浸水41世帯(内15世帯は半壊認定)に見舞金を支給した。

床上浸水世帯3万円、半壊認定世帯10万円、総額は228万円。

▶ ボランティアに参加(議員) 8/17・18 岩木処分場



平成21年度予算の補正

(単位：千円)

会計名	補正前	補正額	補正後	主な補正理由
一般会計	7,698,105	175,477	7,873,582	台風9号に伴う災害復旧経費の増加による増
国民健康保険事業会計(事業勘定)	1,827,184	43,431	1,870,615	国県支出金返還金の増加による増
国民健康保険事業会計(直診勘定)	60,670	848	61,518	需用費施設修繕料の増加による増
後期高齢者医療事業会計	205,973	635	206,608	保険料等負担金の増加による増
介護保険事業会計	1,263,842	10,996	1,274,838	前年度繰越金確定に伴う補正増等による増
水道事業会計	1,180,068	87	1,180,155	人事異動に伴う職員給与費の増額による増
簡易水道事業会計	187,749	5,040	192,789	大杉野簡易水道統合施設整備事業に係る工事請負費の増加による増
農業集落排水事業会計	327,207	22,334	349,541	台風9号災害に係る修繕費の増加による増
公共下水道事業会計	778,781	△16,318	762,463	整備事業費の見直しによる減

ここが
知りたい!
一般質問

今期定例会では、9月8日から16日までの9日間、7人の議員が質問に登壇しました。主な質問の内容、町長等の答弁の要旨は次のとおりです。

1番	藤本ゆうき 議員 病児保育について	P 6
2番	工藤 崇 議員 赤松は上郡町ではないのか	P 7
3番	阿部 昭 議員 入札残金の使途を明らかに	P 7
4番	小寺政広 議員 「防災課」の設置を	P 8
5番	井口勝智 議員 給食センターについて	P 8
6番	橋本正行 議員 被災状況と直後の対応は	P 9
7番	大政正明 議員 上郡町の水防計画と実際の対応	P 9

議員研究会

兵庫県町議会議長会の創立60周年記念の研究会「分権時代の地方議会を考えるつどい」が、8月24日に福崎町エルデホールで開催された。

駒林良則氏（立命館大）が基調講演「地方議会改革の動向と方向性」で、議会基本条例の意義と課題及び条例制定後の議会のあり方につき説明した。引き続き行われたパネル討論で、伊賀市議会議員、



▲ 議員研修

熊取町議会議員を交えた4人の演者が議会基本条例制定の経緯を交えて討論を行った。

議員のボランティア活動

8月9日に台風9号に伴う集中豪雨に見舞われ、上郡町と佐用町では大きな被害が発生しました。議長から災害支援のためのボランティア活動の呼び掛けがあり、8月17日と18日に岩木の環境センターへ、8月29日と30日が佐用町へ多数の議員が行きました。

この他に町内被災地や佐用町へ独自の支援活動をするために行った議員もありました。

病児保育について

同趣旨の事業実施を検討

問 働く親にとって、病気などで集団保育が困難な子供を預けられる施設があればどれほど心強いでしょうか。子育てと就労の両立を支援する病児保育事業への取り組みは。



藤本ゆうき 議員

町長 現在、町立の診療所・保育所では、病児保育実施要件の専用スペース及び人員の確保等の対応が困難である。

同趣旨の支援策として、育児・介護を地域で支える「ファミリーサポート事業」の実施を具体的に検討している。

※行政が運営し、育児・介護の援助者と被援助者が会員になり、子育て中の人や働く人の家庭を支える事業。

防災体制について

問 ①台風9号における水防体制は、前回の課題や注意点が改善されたものであったか。

- ② 新型インフルエンザ対策。
- ③ 児童、生徒への救命講習実施状況は。

町長 ①自助・公助・共助の組み合わせをきちんとすることが大切である。今回の反省の上に立って避難場所の見直しあるいは将来的な治山、砂防を含めた課題を考えていく。

政権交代について

問 このたびの衆議院選挙の結果が地方行政に及ぼす影響をどうみているのか。

町長 新年度予算編成時に少なからず影響はあると思う。行政サービスが混乱、停滞のないよう注意し対応する。



▶ 上中救命講習

赤松は上郡町ではないのか

災害の報告が遅れた

問 8月9日の豪雨で被害に遭った赤松地区の方から「上郡町は11日になっても被害状況の公開がない。赤松地域は上郡町ではないのか」と怒りの声があった。被災した他の



工藤 崇 議員

自治体は翌10日午前6時には被害状況を素早く公開し、救援対策に結びつけていた。町長や幹部に危機感はなかったのか。

町長 予測できない事態が起きたが、その時点で精一杯やった。今後の課題の第一は情報伝達の強化である。

問 今さら何をおっしゃる。「防災情報の強化を急げ」と

6月議会でも強く主張し、「やります」と町長の答弁があった。

町長 おっしゃる通りである。今後は被害の事実をつかんだ段階で公開する。また、避難所になっている学校で開いていない所があり、今後このようなことはあってはならない。なお、学校園の子ども・保護者への緊急時の連絡はキュート連絡網を整備した。

※保護者の携帯電話へ電子メールを一斉に送信するシステムのこと。

入札残金の用途を明らかに

財政調整基金の積立て等へ

問 上郡中移転に伴い県からの委託補償事業で入札を行い多大な予算が残ったとの発表があり喜んでおりますが、このような想定外の収益の使用先は公表すべきと思いますが見



阿部 昭 議員

解を。

町長 上郡中学校の工事の入札で予算が残りが残っている。20年度末ですが差額は1億4600万円となり、これは財政調整基金へ積み立てました。最終的に他の事業における余剰金と合わせて事業内容等も報告したいと思っている。

台風被害の痛みを町全体で感じ助け合いの心を

問 台風9号の被害は赤松地区だけだったにもかかわらず他の地域からの助け合いの姿が見えなかった。一部の地域の苦しみを町全体に知らして、ボランティアの体制を作るべきではなかったのか。

町長 町内他地域の方への報告の遅れとボランティアの少なかったことは反省している。福祉協議会や消防団に頼って

定住自立圏構想は難航!

問 備前市が中心都市では同構想の見通しは暗い。協議の状況は。

町長 ①学校給食は赤穂市との調整が必要。②上郡町から赤穂市へのバスの充足、JRの増便・延長。③医者の確保は協議に至らず。④上郡町ケールテレビを導入したい。⑤鳥獣被害への協力。⑥赤穂市、備前市、上郡町の観光パンフレットを作成する。



▲ 河野原橋の歩道橋破損



▶ 麻薬撲滅キャンペーン

いたところがありました。今回のことを教訓にきめ細かい支援の方法を考えたい。

覚せい剤事件を小中学生に

問 芸能界の事件でマスコミで報道されている今こそ子供達に麻薬、覚せい剤の怖さを教育するチャンスと思うが。

町長 本当に善悪の強い判断、拒絶していく強い意志、撲滅する側に立てる人の育成、教育を進める。